



## お江戸舟遊び瓦版 1054号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

関東大震災101年 迫りくる首都地震 南海トラフ地震 備えを急ごう

### 第12回首都防災ウィーク 開会式・竹灯り点灯式



2024.8.17 18:00~19:30 東京都慰霊堂

「みらくルTV」防災フォーラム

主催者・共同代表挨拶 中林一樹（東京都立大名誉教授）、住吉泰男（公益財団法人東京都慰霊協会）

三富吉浩（公益財団法人全国市有物件災害共済会）、瀧澤一郎（NPOいのちのポータルサイト代表）

来賓挨拶：小池都知事（代読）、山本亨墨田区長（代読）、淵上清大船渡市長（代読）

川田龍平（立憲民主党）、小野泰輔（日本維新の会）、竹詰ひとし（国民民主党）、

山添拓（日本共産党）、櫛淵万理（れいわ新選組、代読）、杉浦伸一（両国中学校長）



開会式・竹灯り点灯式：[https://youtu.be/BGNeUEVWH\\_A](https://youtu.be/BGNeUEVWH_A)をクリックすると観れます。

竹灯りは、岩手県大船渡市の竹採取から始まり、都の慰霊堂に運ばれ、小中高大学生を始め日々10～20人の沢山のボランティアの人の輪・努力の積み上げで2週間かけて作られた貴重なものだ。



## 24. 8. 26 (株)サンテックインターナショナル防災消防訓練

亀戸にある建設コンサルタント会社の防災訓練を見学した。初めに指導者から心肺蘇生法を学び、次にAEDの使用方法、最期に両者の併用と続いた。救急車が来るまでに可能な限りの心肺蘇生法を行えるならば、身近な人の命を助けることができる。それ自体難しいものではないが、とっさの時に実行できるかが課題で、常日頃日常的に訓練しておくことが大切と言われている。企業でも学校でも、街中でも、AEDは備わっていることから、訓練の大切さを痛感させられた。



その後、緊急放送が流れ、近くの観光名所でもある梅屋敷の仮想避難所に避難訓練した。



仮想避難所で、消防訓練が行われ、消火器の説明を受け、参加者が順次消火器体験を行った。  
**所感：**元旦の能登半島地震、8月の宮崎県地震・南海トラフ地震臨時情報、そして台風10号の大型台風で長く続いた豪雨と日本はまさに災害大国となっている。地域の子供たちも参加した防災訓練は貴重な体験と痛感した。(文責 中瀬)